



新しい正門や中庭など完成。  
100周年記念で国府高校 ⑥面

# 100周年を新たな気持ちで

記念事業で  
正門など整備

## 豊川の国府高が完成式典

今年度で創立100周年を迎えた豊川市の県立国府高校(伊與田万知校長)で24日、記念事業となる新しい正門や中庭などの完成記念式典が開かれた。

同窓会や学校、PTAでつくる記念事業実行委員会が、寄付などで集めた総事業費4763万円を実現。約半年間の工期を経て、正門や同校のシンボル「ひょうたん池」

の形をモチーフにしたゼンターサークル、中庭に至るまでのブロック舗装などが整備された。これまで多くの生徒たちは名鉄国府駅に近い北側の通用門を使っており、正門の利用機会は少なかった。新たな正門は幅が広くなり、周りの植栽も伐採。今後はここが登下校のメインルートとなる。

この新たな正門から高校生活をスタートさせる」「確かな軌跡がたくさん刻まれる希望の門となることに大きな期待を寄せたい」と話した。式典には歴代校長や、前豊川市長の山脇実さんから卒業生ら30人が出席。学校側への目録贈呈や請負業者のハクヨーコーポレーションへの感謝状贈呈、テープカットや記念撮影があった。

【由本裕貴】

ブロック舗装が  
施された中庭



新しい正門の前に立つ高津さん④と山本さん  
＝国府高校で

昨年年度後期生徒会長の高津茉奈さん(3年)と今年度前期生徒会長の山本稜さん(2年)は「将来への希望と可能性を秘めた新入生が

